



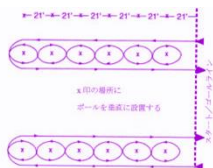
2015.01.05

スペシャルオリンピックス福岡大会

2014年11月1日から3日かけて福岡県内で開催された、スペシャルオリンピックスヨナルゲーム・福岡。今回初めてエキシビジョン種目として登録された乗馬競技に、mufedでサポートしているボランティア団体「EFP (Equine Facilitated Project)」よりコーチクリニック派遣へのコーチ派遣、またEFPで日常的に訓練を受けたスタッフによって実施される特別な支援を必要とする人の乗馬プログラムに参加している者も選手として大会に参加した。

乗馬競技概要

- ◆ **競技種目：ジムカーナ競技**
 - ▶ ポールペンディング
 - ▶ ユニファイドスポーツ・レクリエーション
- ◆ **会場：福岡県馬術競技場（古賀市筋内564）**
- ◆ **競技ルール**
スペシャルオリンピックススポーツルール第1章総則及び馬術に則り実施。ただし、本ルールに矛盾しない限り、公益財団法人日本馬術連盟の競技規則を採用。本大会ではローカルルールとしてポールペンディングはCSを始め各ディビジョンが参加できる。
- ◆ **エントリー：一人1種目**
(ユニファイドスポーツ・レクリエーションとの重複は可能)
- ◆ **競技方法**
6.4メートル間隔に置かれた6つのポールをアスリートは始めにポール右側をまっすぐ進んだ後に、戻る際に左右どちらから曲がり、ポールを左右交互にジグザグに進んだ後、再び左右ジグザグに進み、最後はポール際を一直線に走り、ゴールラインを横切る。かかった時間が競われる。



- ◆ **服装：**ヘルメット、ブーツなど競技者として服装をする

- ◆ **抗議：**抗議手続きはリザルト掲示後15分以内にヘッドコーチ（不在の場合はヘッドコーチが指名した登録コーチ）がルール委員会に対して所定の書面を提出
- ◆ 今回の大会で初めてエキシビジョン競技として行われるので、安全を第一に実施。

馬術競技スケジュール

11月1日（土）大会1日目

~8:00 入馬完了
10:30 会場到着・受付
10:40 ヘッドコーチミーティング
11:00 馬合わせ開始
13:00 馬合わせ終了
14:00 バス出発
15:30 開会式（17:30 終了）
21:00 ヘッドコーチミーティング

11月2日（日）大会2日目

09:30 会場到着・受付
09:45 ヘッドコーチミーティング
10:00 開会式
10:30 競技開始（予選）
11:00 体験乗馬
12:00 休憩・昼食
13:00 競技開始（決勝）
14:00 ユニファイドスポーツ・レクリエーション
15:00 表彰式
16:00 協議会終了

11月3日（月・祝日）大会3日目

九州ホースショー見学

あなたの未来型 エステティック

エルセーナ

HOPE & DREAMS Projectは株式会社エル様の協賛を受けて運営されています。

馬術競技選手

氏名	所属地区組織
竹中 力輝	SO 日本・神奈川
内山 萌	SO 日本・神奈川
深津 類	SO 日本・兵庫
水川 博貴	SO 日本・岡山
青木 孝文	SO 日本・福岡
本間 明日香	SO 日本・福岡
松尾 悠	SO 日本・長崎
富永 武志	SO 日本・長崎
木村 拓哉	SO 日本・熊本
清原 凧子	SO 日本・熊本

コーチ・スタッフ

氏名	所属地区組織	参加区分
三浦 輝子	SO 日本・神奈川	ヘッドコーチ
上部 達生	SO 日本・神奈川	追加スタッフ
鎌倉 早苗	SO 日本・神奈川	追加スタッフ
前川 芳睦	SO 日本・兵庫	ヘッドコーチ
西崎 純郎	SO 日本・岡山	ヘッドコーチ
賀来 正明	SO 日本・福岡	ヘッドコーチ
中岡 志保	SO 日本・福岡	追加スタッフ
川添 公裕	SO 日本・長崎	ヘッドコーチ
永江 典隆	SO 日本・長崎	追加スタッフ
宮本 亨二	SO 日本・熊本	ヘッドコーチ
内藤 邦子	SO 日本・熊本	追加スタッフ



大会風景

今回参加した選手は10名、小規模ながら初めてのスペシャルオリンピックでの開催ということもあり、大勢の見学者やサポーター、またボランティアの方たちによって運営された。

午前に行われた予選で、競技規則にのっとった予選実施後、来場した方の中での希望者向けの体験乗馬の合間に予選リザルトを発表された。午後から行われた決勝には今回大会公式応援ソングを歌った mudef 理事でもある歌手の MISIA や、スペシャルオリンピック日本理事長である元オリンピック選手の有森裕子氏らが訪れ、選手を激励した。

決勝では普段のトレーニング以上の力を発揮した選手や、普段通りの競技ができずに悔しがる選手、また、コースを間違え、やり直しとなる選手もいた。しかしすべての選手の演技が終わるたびに、会場から暖かな拍手が送られたのが印象的であった。

あいにくの雨天ではあったが、室内での競技場であったので、大きなトラブルもなく競技は運営された。表彰前には選手より会場にいるスタッフやボランティア、来場者に向けてお礼の言葉が言われた。「スタッフの皆さん、ボランティアの皆さん、会場までバスで送ってくれた運転手さん、馬術競技連盟の方、ありがとうございます」の言葉に、会場から暖かな拍手が送られた。

表彰では2ディビジョン（スペシャルオリンピックではルールに基づき年齢、性別、能力などに応じて分類され、その分類されたディビジョンごとに表彰される）で行われ、MISIA が1位から3位までの選手にメダルを手渡した。

なお、競技会場では会場正面に賛同し、協賛した企業のロゴが掲出されたが、株式会社エルのロゴも掲出された。



試合風景



表彰式



Voices

SON ナショナルゲーム福岡 馬術競技に参加して

福岡のナショナルゲームで初めて馬術競技にでました。とても朝早く、飛行機に乗って大変でした。初めて会ったナポレオンに乗せてもらいました。とても、緊張しました。でも、うまく乗れて、嬉しかったです。ナポレオンに、ありがとうございます。

メダルを MISIA にかけて貰って、サインをもらえてとてもうれしかったです。メダルをかけてもらった後、あすかちゃんと泣きました。あすかちゃんとお友達になりました。

また、会いたいです。

りき君、鎌倉さん、三浦さん、上部さん、とみんなでもた競技にでたいです。

アスリート 内山 萌

娘、萌が中学 2 年生の時に SONK で馬術プログラムがスタートして以来、約 8 年間プログラムに参加させていただき、今回ナショナルゲームで馬術競技に参加することができました。8 年と言うと、とても長いようですが、年 9 回のプログラムと年 1 回の合宿の積み重ねでここまで来させて頂きました。

5 歳の時に馬に乗るのを嫌がり泣いた娘が、初めて会った馬に乗せてもらい、初めての馬場で競技を無事に終えることができてただけで感無量です。

親から離れての三日間、かなり過酷な内容のようでしたが、コーチの方々のお蔭で無事過ごすことができました。競技面だけでなく、生活面においてもタイミング良く、声かけをしていただき、本人が次のステップに進める自信を作り出して頂きました。感謝、感謝！

内山 萌 (母)

西崎純郎さん

【SO 日本・岡山ヘッドコーチ】ブログより

先週は 4 年に一度開催される「スペシャルオリンピックス日本 2014 夏季ナショナルゲーム福岡」の馬術競技にコーチとして参加させてもらったよ！

(略)

はじめて SO のナショナルゲームに参加させてもらって思ったのは、SO に限らず、こういった知的障がいの方だったり身体障がいの方が一生懸命頑張る姿がこんなにも社会を動かすパワーを生み出してね、まさにそのパワーの源が生まれる瞬間ってのを肌で感じれたんだよ！！

※全文は以下のブログで見ることができます。

<http://ameblo.jp/okayama-jobclub/entry-11949504238.html>



中田正子さん【EFP 共同代表】

たくさんの方々に支えられ、第 6 回スペシャルオリンピックス日本・夏季ナショナルゲーム福岡のエキシビションとして馬術競技を実施することができました。

2005 年に初めて神奈川で馬術コーチクリニックを実施しプログラムをスタートしてから 9 年、マイナー競技でありながらこつこつと積み上げてきた実績がナショナルゲームへとつながったことをとてもうれしく思います。

スペシャルオリンピックスの日常のプログラムでは、それぞれのスキルや経験に応じてスキルアップできるようにコーチたちがサポートしています。

コーチたちの熱心な指導がアスリートの自分で馬を動かすという意識とアクションにつながり、それに馬が応えて動く・・・まさにみんなの希望と夢が 1 つになって動き出す、そんな瞬間を積み重ねていきます。

今回、神奈川の代表として出場した一人は初回のプログラムから参加しており、たくさん練習、馬との経験を発揮する晴れの舞台に立つことができ、感動もひとしおでした。

11 月のナショナルゲームに向け、アスリートのトレーニングに加え、日本各地でスペシャルオリンピックス馬術プログラムの普及のためにコーチクリニックを行ってきました。2013 年岡山、2014 年には福岡で 2 度、兵庫、北海道にて実施しました。

ナショナルゲームとして採用される競技の条件として最低全国 8 都道府県でプログラムが実施されている必要があります。

コーチクリニックを開催し、プログラム実施都道府県が増えたことで、次回のナショナルゲームでは正式競技として採用される可能性があり、世界大会への道もつながってきました。

アスリートたちは発表の場、競い合う場をめざすことで、目的をもって練習に取り組むことができ、モチベーションが上がります。

ナショナルゲーム福岡で馬術が実施されたことにより、出場しなかったアスリートたちも、いつかは自分が、という意識が芽生えています。これは支えるコーチやファミリーにとってもよい影響を及ぼし、プログラム全体の士気が高まったように感じます。

このような活動の機会をご支援くださっているエルセーヌ様に心より感謝いたします。

11月1日開会式・市内風景



福岡マリンメッセ

11月1日は午後3時半より、福岡マリンメッセにて開会式が開催、アスリート約1000名とスタッフ、ボランティアを合わせて約7000名が会場に集まりました。

会場では高円宮妃殿下のお成りの後ケネディ駐日アメリカ大使、その他自治体関係者なども参加、安倍首相によるビデオメッセージを始め、会の成功に向けて暖かなメッセージが寄せられました。

開会式では今回公式応援ソングとなった「HOPE & DREAMS」を提供した mufdef 理事でもある MISIA も参加、大会へのメッセージとして曲を披露した。MISIA によるライブではアスリートも踊りだし、終了後も「アンコール」を叫ぶなど非常に会場全体が翌日からの大会に向けて盛り上がる事ができた。

なお、mufdef では入場時に参加される方にとってカブけられるものを、とも思いより理事の信藤三雄氏に依頼してステッカーを作成、配布を行った。



市内風景

大会に際し福岡市内各地では大会告知のポスターやバナーが掲出された。空港や市内の駅など公共スペースなどで目にする事ができた。



写真上：福岡空港 / 写真下：博多駅構内

メディア掲載状況

取材報道機関：30社

※2014年11月1日～3日（開閉会式含む）

紙媒体

- ◆ 10月18日付 朝日新聞（5段・有森氏とMISIA対談）
- ◆ 10月26日付 毎日新聞・産経新聞（5段・有森氏と対談）
- ◆ 10月31日付 読売新聞（5段）
- ◆ 10月31日付 西日本新聞（15段）
- ◆ 11月5日付 ソフト12月号「MISIA あふれ出る想い」有森氏と対談掲載
- ◆ 12月5日付 ソフト1月号「MISIA あふれ出る想い」有森氏との対談のほか、参加した感想など掲載
- ◆ 公式プログラム：会場で配布
MISIAと有森氏の対談掲載



西日本新聞原稿

その他

- ◆ スペシャルオリンピックの特設サイトで MISIA と有森氏の対談を掲載。



URL:

<http://www.son.or.jp/2014summer/message/supporter.html>

ラジオ

- ◆ 10月27-31日 クロスエフエム【78.7MHz】
10/27-31日までDAY+で毎分約3分ほどSONの紹介をMISIAが紹介
- ◆ 11月2日 クロスエフエム【78.7MHz】
北九州市のイベント会場での公開録音にMISIAが参加、SONの活動を紹介した。

スペシャルオリンピックス(SO)とは

知的障害のある人に様々なスポーツトレーニングの場の提供とその成果の発表の場である競技会を、年間を通じて提供している国際的なスポーツ組織。1962年に故ケネディ大統領の妹ユニス・ケネディ・シュライバー夫人が創設。彼女の姉ローズマリーが知的障害を持っていたことが、開始のきっかけだった。1968年には組織化され、1988年には国際オリンピック委員会とも契約を交し「オリンピック」の名称を使用することも承諾された。

本部はアメリカのワシントン。現在 170 国以上で約 420 万人以上のアスリートと 100 万人以上のボランティアが参加。

日本では 1980 年に活動が始まり、1994 年に国内本部組織として「スペシャルオリンピックス日本 (SON)」が発足した。現在は 42 都道府県に地区組織が設立、全国で 7500 人のアスリートと 13000 人以上のボランティアが参加している。また日本では夏季スポーツ 16 競技、冬季スポーツ 7 競技が実施されている。

スペシャルオリンピックスの特徴

結果よりも、過程を重視しているのが特徴。知的障害のある人たちの成長にスポーツが大きなプラスになるとの信念から、またスポーツを通じて知的障害のある人たちと共に活動することは地域社会にとっても大きなプラスになるとの信念から、性別、年齢、スポーツのレベルを問わず、共に成長し、共に楽しむ、そしてその経験を分かち合うことが重要と考え活動している。

- ❖ **継続的なトレーニングと発表の場である競技会を提供**
1 週間に 1 度、2 時間ほど、ボランティアのコーチと共にスポーツを楽しみ、その成果を競技会、大会で発表。
- ❖ **ひとりひとりに合わせたプログラムを実施**
- ❖ **能力に応じてディビジョニング (グループ分け) する**
競技会では、可能な限り同程度の競技能力のアスリートが競技できるように、性別、年齢、競技能力などによってグループ分け (ディビジョン) を実施。ディビジョニングにより、誰でもが平等に競い合うチャンスが与えられ、自分の現在の能力を十分に発揮し、一番輝く機会を得られると期待されている。
- ❖ **全てのアスリートを称え全員を表彰**
表彰台では、全てのアスリートに、メダルやリボンがかけられます。順位だけでなく、競技場に立ち最後まで競技をやり終えた事に対して、一人一人にかわらぬ拍手が贈られます

ユニファイドスポーツ

スペシャルオリンピックスの特徴的な取り組みとして、アスリート (知的障害を持つ個人) とほぼ同人数のパートナー (知的障害のない同程度の競技能力の人) とチームを組み、練習や競技を行うユニファイドスポーツ®を展開する取り組みがある。

全ての参加者 (アスリートとパートナー) が、年齢や競技能力が同じ程度の人で行われます。ユニファイドスポーツは、スポーツに参加する機会を増やしてくれる大切なプログラムである。



活動内容

- ❖ **コーチ・ボランティアの育成**
スペシャルオリンピックスについて知り、理解を深め、またアスリートにとって良いスポーツ活動の場を提供できるような研修内容を提供
- ❖ **日本選手団派遣**
4 年に 1 度開催されるスペシャルオリンピックス世界大会や、アジアパシフィック地域で開催される招待大会等に日本選手団を派遣。
- ❖ **大会・競技会の開催**
日常的な地域でのスポーツトレーニングの成果を発表する場として 4 年に 1 度開催するナショナルゲーム (全国大会) を開催 (今回の福岡大会がそれに該当)。
- ❖ **その他のプログラム**
参加するアスリートのサポートや、学校との連携、競技会での健康チェックプログラムなど、様々な角度からアスリートの支援や、広く社会への啓発活動を実施。

公式競技

【夏季公式競技】16 種目

水泳競技、陸上競技、体操競技、バスケットボール、バドミントン、ボッチャ、ボウリング、自転車競技、馬術、フットボール (サッカー)、ゴルフ、ハンドボール、柔道、新体操、パワーリフティング、ローラースケート、セーリング、ソフトボール、卓球、テニス、パレーボール

【冬季公式競技】7 種目

アルペンスキー、クロスカンリースキー、フィギュアスケート、フロアホッケー、スノーボード、スノーシューイング、ショートトラックスピードスケート

参加者資格

- ❖ **年齢：8 歳以上**
個人種目は 8 歳以上から年齢グループに分けて実施。(30 歳以上は相当数いた場合、さらに細分化) チーム種目も同様
- ❖ **選手のグループ分け**
STEP 1 : アスリートを性別で女性、男性の 2 チームへ分類
※通常同性のアスリート同士で対戦するが、特に男女混成種目を認めている場合はこの限りでない (例 : 馬術)
STEP 2 : アスリートを年齢別に分ける
STEP 3 : アスリートを能力別に分ける
※タイム、距離、得点で計測される種目では、提出された記録に基づき分類。
※判定がある競技で、競技会中に予選が行われる場合、予選の成績に応じて分類
※判定がある競技で、競技会中に予選が行われない場合、演技のみで評価。
- ❖ **選手の表彰**
1 位から 3 位までの入賞者にメダルを、4 位から 8 位までの入賞者にリボンを授与。
※失格になったアスリートや途中棄権者には参加賞のリボンを授与



スペシャルオリンピック福岡 2014

2014 年 11 月 1 日 (土) ~ 3 日 (月・祝) の 3 日間にかけて、福岡県にて「2014 年第 6 回スペシャルオリンピックス日本夏季ナショナルゲーム・福岡」を来年アメリカで開催される 2015 年スペシャルオリンピックス夏季世界大会・ロサンゼルスでの日本選手団選考を兼ねて開催されました。

今大会は、スペシャルオリンピックス日本設立 20 周年を迎えた年の開催になり、また、初めて全国 47 地区組織より選手団が参加した記念すべき大会。

大会には高円宮久子妃殿下のご臨席を賜り、国際本部の会長でありスペシャルオリンピックス創設者のご子息ティモシー・シュライバー氏やキャロライン・ケネディ駐日米国大使、そしてスペシャルオリンピックス グローバルアンバサダーに就任された中田英寿氏など豪華ゲストの皆様にご参加いただきました。

大会に参加した選手団 1,568 名 (アスリート 975 名、役員・コーチ 593 名) は、延べ 4,868 名のボランティアの協力の下、競技に取り組みました。また、各会場ではボランティア、観客の皆様の声援が競技に臨むアスリートたちの心を勇気づけ、アスリートたちはこれまでの練習の成果を全力で出し切ることができ、会場が一体となりました。

- ❖ **大会詳細サイト**
http://www.son.or.jp/about_son/report/2014summer_fukuoka.html
- ❖ **期間** : 2014 年 11 月 1 日 (土) ~ 3 日 (月・祝)
- ❖ **開催地** : 福岡県内各所 (福岡市、北九州市、宗像市、粕屋町、古賀市)
- ❖ **参加者数** : アスリート : 975 人
ボランティア : 4,868 人

EFP、スペシャルオリンピックスに関する活動のお問い合わせは一般財団法人 mufed まで



一般財団法人 mufed

150-0001 東京都渋谷区神宮前 1-14-13

TEL: 03.5414.7778

Email: info@mufed.net